

あなたと青山学院



地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World

青山学院スクール・モットー

33万人の卒業生と母校をつなぐ「絆」

October 2014 No.16

今号の聖句

主を求めよ、そして生きよ。

アモス書第5章6節

青山学院第14代院長就任式、挙行される

7月3日(木)14時から、ガウチャー記念礼拝堂において、学院および校友会、キリスト教学校教育同盟などの関係者の方々が出席される中、梅津順一院長の就任式が挙行されました。

シュー土戸ポール学院宗教部長による司式のもと、八耳俊文女子短期大学学長、中村貞雄初等部部长、敷島洋一中等部部长による聖書朗読、西川良三高等部部长による祈祷の後、安藤孝四郎理事長が式辞を述べました。続いて、安藤理事長が立ち会中、シュー土戸学院宗教部長のもとで梅津院長による誓約が行われ、列席者一同心をひとつに歩むことを誓いました。

仙波憲一大学学長による院長紹介の後、梅津院長は就任の辞を述べられ、佐藤東洋士氏(キリスト教学校教育同盟理事長、学校法人桜美林学園理事長)から祝辞を賜り、頌栄・祝祷をもって式は終了しました。



大学聖歌隊による「新しき歌を主に歌え」



就任の辞を述べる梅津順一院長



誓約

(左から、梅津院長、安藤理事長、シュー土戸学院宗教部長)



シュー土戸ポール学院宗教部長



西川良三高等部部长



安藤孝四郎理事長



仙波憲一大学学長



佐藤東洋士氏
(キリスト教学校教育同盟理事長、
学校法人桜美林学園理事長)

就任のあいさつ (要約)

青山学院は幼稚園、初等部、中等部、高等部、女子短大、大学・大学院と、各学校・大学がそれぞれ独立して存在しています。大学学長をはじめ、各学校にはそれぞれ責任者がおり、院長はいわば6隻の船団である青山学院を対外的に代表し、対内的には各学校・大学の連携を図ることが求められています。私は、院長の役割は、各学校・大学がそれぞれの課題に直面し、誠実に考え模索するなかで方向性を見いだしていく、そうした真摯な営みを背後からサポートし、また、相互の志向を調整し、船団としての青山学院の航路を確かなものとするところであると考えています。



青山学院院長 梅津 順一

新院長として、私はこれから次の3つのことを大切にしていきたいと思えます。

第一に、「チーム青山学院」としての自覚を呼びかけたい。英語の一貫教育などがすでに試みられていますが、青山学院が幼稚園から大学・大学院までお互いに協力し合い、学院内の年次の異なった各学校・大学から学びあうことは、総合学園でしか経験することのできない貴重なプロジェクトとなるでしょう。

第二に、青山学院は、将来への夢、ビジョンを掲げた学校として社会に貢献するものでありたいと願っています。よりよい社会を担う人物をどのように育成することができるか。現状に埋没しないで将来への夢を指し示すことは、教育機関、研究機関の重要な責務にほかなりません。

第三は、青山学院140年の歴史を振り返り、良き伝統を再発見し、将来につないでいくことです。例えば、青山学院の源流をさらにさかのぼって、メソジスト運動の提唱者ジョン・ウェスレーの“The world is my parish.”という言葉思い起こ

したい。すべての人々への伝道の意欲を示すこの言葉は、そのまま訳せば「世界は私の教区」ですが、「広い世界が私の働き場」とも訳すことができます。それを「広い世界が青山学院の働き場」と展開して、世界が一つとなった現状において、青山学院が地域社会にしっかりと根差しながら、広い世界から学生・生徒を迎え、広い世界に活躍する卒業生を送り出したいのです。

今日の青山学院も、過去にも劣らぬ大きな課題に直面しています。日本は長い経済の停滞を背景に改革が提唱され、急速な情報化、グローバル化のなかで、教育のあり方、研究のあり方が根源から問われています。とりわけ、少子化傾向のなかで、どの教育機関も社会の厳しい評価の目にさらされるようになりました。私たちはこの試練のときに、過去の実績に安住することなく、新しい時代に、新しいミッションを掲げて、先達の志を将来につないでいきたいのです。

青山学院は、「地の塩、世の光」をスクール・モットーに掲げています。青山学院の存在が、青山学院が生み出す人材が、この世で「地の塩、世の光」の役割を果たすものでありたい。青山学院の今後の歩みの上に、神の導きと祝福がありますよう祈ります。

梅津 順一 (うめつ じゅんいち) 院長プロフィール

1947年生まれ。1970年3月、国際基督教大学教養学部社会科学科卒業。1973年6月、東京大学大学院経済学研究科修士課程修了(この間、国際交流基金留学生として英国エックス大学留学)。1978年3月、東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。1989年11月、経済学博士の学位取得(東京大学大学院)。

1984年4月放送大学教養学部助教授、1988年4月青山学院女子短期大学教養学科助教授、1993年4月同女子短期大学教養学科教授、1998年4月聖学院大学政治経済学部政治経済学科教授。2008年4月より青山学院大学総合文化政策学部教授、2014年7月青山学院院長に就任、2014年7月学校法人青山学院理事・評議員に就任し、現在に至る。

CONTENTS

学校法人	青山学院第14代院長就任式、挙行される	1
校友会 学校法人	新院長と校友会・今号の聖句	2
学校法人	Useful Information	3
校友会 学校法人	校友会ニュース・青学ニュース	4
校友会	あのことろ・そして・いま/大学名誉教授 氣賀 健生先生	5
校友会	部会・同窓会ニュース	6
校友会	駅伝応援マップ	8

校友会	アイビーグループニュース	10
校友会	支部ニュース	12
学校法人	青学ニュース	13
学校法人	青学探訪「資料センター所蔵資料 紙上展示室 第5回 一寄裂一」	14
学校法人	青山学院からのお知らせとお願い	15
校友会	校友会ニュース	16